

**CASBEE京都-新築(2011年版)**  
**(仮称)パロー京都伏見店**

■使用評価マニュアル/CASBEE京都-新築(2011年

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点項目等	重点項目に対する全国版評価基準の見直し	評価点		重み係数	評価点	重み係数		
<b>Q 建築物の環境品質</b>									<b>2.8</b>
<b>Q1 室内環境</b>									<b>3.0</b>
<b>1 音環境</b>									<b>3.0</b>
<b>1.1 騒音</b>									
1 室内騒音レベル						3.0	0.15	-	
1.2 遮音									
1 開口部遮音性能						3.0	0.40	-	
2 界壁遮音性能						-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	-	
<b>1.3 吸音</b>						3.0	0.20	-	
<b>2 温熱環境</b>									<b>3.0</b>
<b>2.1 室温制御</b>									
1 室温						3.0	0.50	-	
3 外皮性能						3.0	0.17	-	
4 ゾーン別制御性						3.0	0.33	-	
<b>2.2 湿度制御</b>						3.0	0.20	-	
<b>2.3 空調方式</b>						3.0	0.30	-	
<b>3 光・視環境</b>									<b>3.0</b>
<b>3.1 昼光利用</b>									
1 昼光率				●自然	A(全国版準用)	3.0	0.50	-	
2 方位別開口						-	-	-	
3 昼光利用設備				●自然	B(推奨内容)	3.0	1.00	-	
<b>3.2 グレア対策</b>									
2 昼光制御				●自然	B(推奨内容)	-	-	-	
<b>3.3 照度</b>						3.0	-	-	
<b>3.4 照明制御</b>						3.0	0.50	-	
<b>4 空気質環境</b>									<b>3.0</b>
<b>4.1 発生源対策</b>									
1 化学汚染物質						3.0	0.50	-	
<b>4.2 換気</b>									
1 換気量						3.0	0.30	-	
2 自然換気性能				●自然	A(全国版準用)	3.0	0.50	-	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	-	
<b>4.3 運用管理</b>									
1 CO <sub>2</sub> の監視						3.0	0.20	-	
2 喫煙の制御						3.0	0.50	-	
<b>Q2 サービス性能</b>									<b>2.9</b>
<b>1 機能性</b>									<b>3.1</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>									
1 広さ・収納性						3.1	0.40	-	
2 高度情報通信設備対応						-	-	-	
3 バリアフリー計画				●大切	D(独自基準)	3.0	1.00	-	
<b>1.2 心理性・快適性</b>									
1 広さ感・景観				●とも	C(独自加点)	2.3	0.30	-	
2 リフレッシュスペース						3.0	0.33	-	
3 内装計画				●とも	D(独自基準)	1.0	0.33	-	
<b>1.3 維持管理</b>									
1 維持管理に配慮した設計						4.0	0.30	-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>									<b>2.6</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>									
1 耐震性						2.6	0.31	-	
2 免震・制振性能						3.0	0.48	-	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>									
1 躯体材料の耐用年数				●大切	A(全国版準用)	3.0	0.20	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						3.0	0.33	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.23	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.09	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						3.0	0.08	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.15	-	

2.4 信頼性				1.4	0.19		-	
1	空調・換気設備			1.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備			1.0	0.20		-	
3	電気設備			1.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法			3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備			1.0	0.20		-	
3 対応性・更新性				3.0	0.29		-	3.0
3.1 空間のゆとり				3.0	0.31		-	
1	階高のゆとり			3.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ	●大切	A(全国版準用)	3.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.31		-	
3.3 設備の更新性				3.0	0.38		-	
1	空調配管の更新性	●大切	A(全国版準用)	3.0	0.17		-	
2	給排水管の更新性	●大切	A(全国版準用)	3.0	0.17		-	
3	電気配線の更新性	●大切	A(全国版準用)	3.0	0.11		-	
4	通信配線の更新性	●大切	A(全国版準用)	3.0	0.11		-	
5	設備機器の更新性	●大切	A(全国版準用)	3.0	0.22		-	
6	バックアップスペース			3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30		-	2.5
1 生物環境の保全と創出		●とも	A'(全国版準用)	2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		○	C(独自加点) D(独自基準)	3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30		-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	●とも、 自然	A'(全国版準用)	3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	●とも	A(全国版準用)	2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-		-	3.2
LR1 エネルギー				-	0.40		-	3.0
1 建物の熱負荷抑制				1.0	0.30		-	1.0
2 自然エネルギー利用				3.5	0.20		-	3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用	●自然	A(全国版準用)	3.0	0.50		-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	●自然	A(全国版準用)	4.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化				4.7	0.30		-	4.7
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)				ERR=29.9%	4.7		-	
集合住宅の評価				3.0	0.20		-	3.0
4 効率的運用				3.0	0.50		-	
4.1	モニタリング			3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制			3.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30		-	3.3
1 水資源保護				3.0	0.15		-	3.0
1.1 節水				3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無	●自然	A(全国版準用)	3.0	0.67		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.33		-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.3	0.63		-	3.3
2.1	材料使用量の削減	●大切	B(推奨内容) D(独自基準)	2.0	0.07		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	●大切	B(推奨内容) D(独自基準)	3.0	0.20		-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	●大切	A'(全国版準用) B(推奨内容)	3.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	●自然	B(推奨内容) D(独自基準)	1.0	0.05		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	●大切	A(全国版準用)	5.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.6	0.22		-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用				5.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.68		-	
1	消火剤			-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)			3.0	1.00		-	
3	冷媒						-	
LR3 敷地外環境				-	0.30		-	3.3
1 地球温暖化への配慮				3.9	0.33		-	3.9
2 地域環境への配慮				3.2	0.33		-	3.2
2.1 大気汚染防止				5.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善		●とも	A(全国版準用)	2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				4.0	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減			3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制			5.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制			5.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33		-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40		-	
1	騒音			3.0	0.33		-	
2	振動			3.0	0.33		-	
3	悪臭			3.0	0.33		-	
3.2 風害、日照阻害の抑制				3.0	0.40		-	
1	風害の抑制			3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制			3.0	-		-	
3	日照阻害の抑制			3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70		-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	●大切	B(推奨内容)	3.0	0.30		-	

記号凡例 ●:重点項目 ○:低炭素景観創出に係る項目 重点項目キーワード凡例 「大切」:大切に使う「とも」:ともに使う「自然」:自然からつくる